

学生の確保の見通し等を記載した書類

目次

(1) 新設組織の概要	P2
(2) 人材需要の社会的な動向等	P4
(3) 学生確保の見通し	P7
(4) 新組織の定員設定の理由	P12

(1) 新設組織の概要

学生確保の見通しを記載した書類

(1) 新設組織の概要

①新設組織の概要（名称・入学定員（編入学定員）、収容定員、所在地）

新設組織	入学定員	収容定員	所在地
新渡戸文化短期大学 フードデザイン学科(家政関係) 栄養士コース 食生活デザインコース	80人 (50人) (30人)	160人 (100人) (60人)	東京都中野区本町 6 丁目 38 番 1 号

②新組織の特色

○フードデザイン学科は、栄養士コース（入学定員 50 人）、食生活デザインコース（30 人）を設置する。

栄養士コースは、既設の食物栄養学科（家政関係）の栄養士養成を引継ぎ、食や栄養と健康の理念をふまえた幅広い知識を応用する能力と、基本的な調理技術を修得し、現場で活躍できる心豊かな栄養士を養成する。食生活デザインコースは、現在の幅広い分野で様々な課題を発見し、新たな食システム・サービス・食品を想像できる人材を養成する。

既設組織	入学定員	収容定員	所在地
新渡戸文化短期大学 食物栄養学科（家政関係）	80人	160人	東京都中野区本町 6 丁目 38 番 1 号

フードデザイン学科（家政関係）は、既設の食物栄養学科（家政関係）を改組し、新たに設置する。食物栄養学科は、令和 7 年度の学生募集を停止し、令和 7 年 4 月にフードデザイン学科を設置する。

(2) 人材需要の社会的な動向等

(2) 人材需要の社会的な動向等

①新設組織で養成する人材の全国的,地域的,社会的動向の分析

○日本私立学校振興・共済事業団が発行する令和 5 (2023) 年度 私立大学・短期大学等入学志願動向によれば、設置するフードデザイン学科 (家政関係) の入学定員充足率は、令和 5 年度入学では、70.16%まで落ち込むなか、令和 5 年度の本学食物栄養学科の入学定員充足率は 80%を維持している (参考：令和 6 年度入学定員充足率 90%)。

(資料 1 令和 5 (2023) 年度 私立大学・短期大学等入学志願動向)
(別紙 1 新設組織が置かれる都道府県への入学状況)

しかしながら、入学定員 80 人は満たしておらず、新たな食分野の成長市場として、サステナブルフードやフードテックを学ぶ食生活デザインコース 30 人を設け、栄養士コース 50 人と合わせて、入学定員 80 人を確保するための学科設置となる。

サステナブルフード、フードテックの成長市場は、富士経済グループ・三菱総合研究所 HP に掲載されている (資料 2 人材需要に関する情報)。

表 1 入学定員の充足率

項目/年度・入学者数	R 元・58 人	R2・58 人	R3・64 人	R4・75 人	R5・64 人
本学食物栄養学科 入学定員 80 人	72.50%	72.50%	80.00%	93.75%	80.00%
規模別 100 人未満	78.97%	81.79%	80.09%	79.20%	74.68%
地域別 (学校別) 東京	92.30%	93.83%	81.53%	73.78%	72.32%
地域別 (学科別) 東京	92.02%	93.15%	80.89%	72.93%	71.42%
学科系統別 家政系	80.75%	83.35%	80.72%	78.93%	70.16%

②中長期的な 18 歳人口等入学対象人口の全国的,地域的動向の分析

(資料 3 文部科学省レジュメ参考データ集 令和 5 年 10 月 25 日版) 抜粋から、「18 歳人口と高等教育機関への進学率の推移」によれば、令和 7 年 110 万人、令和 17 年 96 万人と 13%の減少となる。令和 6 年現在、既設の食物栄養学科の過去 5 年間の定員充足率は平均 80%となっており、現状のままでは 10 年後の定員充足率が 69%と推測される。(資料 4 リクルート総研マーケットレポート 2023 : 2024 年 2 月号) 抜粋から、南関東地域 (東京・埼玉・千葉・神奈川) の 18 歳人口予測は、令和 7 年 29.6 万人、令和 17 年 27.9 万人と 6%減少となる。社会人入学動向 (資料 3) 抜粋から、リカレント志向が高まっているなか、既設の食物栄養学科では在籍の 5% (別紙 2 既設学科等の入学定員の充足状況 直近 5 年間) となっており、フードデザイン学科においても、社会人の受入れを積極的に行う計画である。

フードデザイン学科 80 人 (栄養士コース 50 人、食生活デザインコース 30 人) として、成長市場のニーズ、リカレント志向に応える学科として再編し、定員充足を見込む経過計画である。

③新設組織の主な学生募集地域

フードデザイン学科の学生募集地域は、東京・神奈川・千葉・埼玉・茨城が上位を占める。本学食物栄養学科の過去 5 年間の入学実績から分析する (別紙 1)。

日本私立学校振興・共済事業団令和 5 (2023) 年度 私立大学・短期大学等入学志願動向 (資料 1)

④既設組織の定員充足の状況

既設の食物栄養学科の定員充足状況は、既設学科等の入学定員の充足状況（直近 5 年間）（別紙 2）のとおり、平均 80%となっている。新設のフードデザイン学科の栄養士コース 50 人の確保は見込めると分析し、食生活デザインコースは新たな成長市場で必要な知識・技術の修得カリキュラムを編成し、30 人の確保を見込む計画である。

(3) 学生確保の見通し

(3) 学生確保の見通し

①学生確保に向けた具体的な取組と見込まれる効果

ア 既設組織における取組とその目標

○既設の食物栄養学科のオープンキャンパスは、(別紙3 既設学科等の学生募集のためのPR活動の過去の実績)に記載しているとおり、オープンキャンパス参加者の約40~45%が受験し、ほぼ同数が入学している。受験希望者が参加できる日を選択できるよう、年間約20回のオープンキャンパスを開催し、運営は在学生スタッフが主体となって運営している。

- ・オープンキャンパス参加数 受験対象 KPI 200人 リピート来校率 30%
- ・高校訪問 東京・神奈川・千葉・埼玉・茨城を中心に教員、広報職員が訪問
5月連休明けから6月末 毎年約100校
- ・資料請求 年間 1,300 請求
- ・SNS Instagram フォロワー 500 LINE お友達登録 450

イ 新設組織における取組とその目標

○フードデザイン学科の取組みについて、下記目標を計画する。

- ・オープンキャンパス 23回実施
参加数 受験対象 KPI 200人 リピート来校率 30%
- ・高校訪問 東京・神奈川・千葉・埼玉・茨城を中心に教員、広報職員が訪問
届出完了後、7月上旬 約120校
- ・資料請求 受験対象 1,500 請求
- ・SNS Instagram フォロワー 600 LINE お友達登録 600
- ・高大連携協定の打診 過去5年間の入学者が多い高等学校上位約10校
- ・既卒者・社会人選抜の強化 HP サイト

ウ 当該取組の実績の分析結果に基づく、新設組織での入学者の見込み数

○フードデザイン学科で見込まれる入学者数

- ・オープンキャンパス 受験率 40% 80人
- ・高校訪問 30人
- ・資料請求 75人
- ・SNS 30人
- ・高大連携協定の打診 5人
- ・既卒者・社会人選抜の強化 5人

②競合校の状況分析(立地条件,養成人材,教育内容と方法の類似性と定員充足状況)

ア 競合校の選定理由と新設組織との比較分析,優位性

○競合校の選定理由

【競合校設定の観点】

- ・学校種の類似性
オープンキャンパスの出口調査から、他の受験を考えている上位3校を設定
女子栄養大学短期大学部 食物栄養学科 (家政関係)
戸板女子短期大学 食物栄養科 (家政関係)
武蔵丘短期大学 健康生活学科 健康栄養専攻 (家政関係)

- ・定員規模の類似性
女子栄養大学短期大学部 食物栄養学科 (160人→R6から120人)
戸板女子短期大学 食物栄養科 (150人→R6から120人)
武蔵丘短期大学 健康生活学科 健康栄養専攻 (80人)
- ・学問分野の類似性(学校基本調査の学科系統分類表の中分類を参考にする等)
※(大分類)家政 (中分類)食物学関係
女子栄養大学短期大学部 食物栄養学科
戸板女子短期大学 食物栄養科
武蔵丘短期大学 健康生活学科 健康栄養専攻
- ・所在地の類似性(新設組織の主たる学生募集地域に所在するもの等)
女子栄養大学短期大学部 食物栄養学科 (東京都豊島区)
戸板女子短期大学 食物栄養科 (東京都港区)
武蔵丘短期大学 健康生活学科 健康栄養専攻 (埼玉県比企郡吉見町)
- ・学力層の類似性(新設組織が想定する学力層と同程度のもの等)
選定の3校は、フードデザイン学科が想定する学力層と同等である。
※Benesse マナビジョン 2024年度入試対応偏差値より照合

○競合校との比較分析

【競合校との比較分析の観点】

- ・教育内容と方法
選定の3校は栄養士養成施設(厚生労働省)として設置されていますので、栄養士養成に関連する教育内容については、同様です。
武蔵丘短期大学は、栄養教諭二種免許状の取得が可能のため、教職課程に関連する授業科目は、教育内容が異なる。
- ・入試(競合校の受験時期,入学手続き時期との関係)
選定の3校は、総合型選抜、学校推薦型選抜、一般選抜、社会人選抜毎の定員の設定、受験時期、入学手続き時期は、ほぼ同様である。
- ・学生納付金,奨学制度などの修学支援の内容
フードデザイン学科の学費は、選定の3校の学費より安く設定している。
選定3校の奨学金制度との比較では、名称は異にするが、入学特待制度、在学生学業奨励制度、縁故学費減免制度、社会人学費減免制度等、ほぼ同様である。
武蔵丘短期大学は、専門実践教育訓練給付金制度の認定を受けている。
- ・就職支援の内容
選定の3校の就職支援は、サポート体制・プログラムが整備されており、ほぼ同様である。
- ・取得できる資格
選定の3校は、栄養士、民間等のフード資格等を取得できる。武蔵丘短期大学は、栄養教諭二種免許状が可能である。
フードデザイン学科食生活デザインコースは、フードスペシャリスト受験資格、フードコーディネーター3級資格の授業科目は必修となり、栄養士コースは授業

選択で同資格の取得を可能としている。

イ 競合校の入学志願動向等

※競合校の志願者数、受験者数、合格者数情報はホームページから入手が不可
(資料5 競合校3校の入学者動向)から、家政関係の厳しい状況がうかがえる。
女子栄養大学短期大学部(69%→46%)、武蔵丘短期大学(81%→50%)が令和3年度から令和5年度にかけて定員充足率が大幅に下回った。本学食物栄養学科(80%→80%)は定員充足とはなっていないが、ほぼ横ばいである。戸板女子短期大学も令和5年度定員充足率が96%となった。フードデザイン学科は、栄養士コース50人の確保、食生活デザインコース30人が目指す成長市場の知識・技術を修得できる魅力あるコースで定員80人の充足を見込むことで計画している。

ウ 新設組織において定員を充足できる根拠等(競合校定員未充足の場合のみ)

イ. の状況から、競合校2校において、令和6年度入学定員の減員を行っている。戸板女子短期大学食物栄養科が150人から120人とし、他学科に移行した。女子栄養大学が、160人から120人に減員した。

2校の競合校の定員減員による本学への動向、新たな食生活デザインコースでの入学者の確保、本学は男女共学のため男子入学者の確保、学び直し社会人の確保により、定員充足を見込むことが可能である。

エ 学生納付金等の金額設定の理由

学校法人新渡戸文化学園の財政計画に基づき、学生生徒等納付金の設定をしている。また、前述の競合3校より安価な現状から、経済的な側面も進学校選びの重要な要素であるため、10年以上据え置いている。

③先行事例分析

該当なし

④学生確保に関するアンケート調査

フードデザイン学科設置に係る事前相談の結果を受け、令和6年3月20日・23日、4月14日・4月27日のオープンキャンパスにおいて、アンケート調査を行った。
(資料6 フードデザイン学科 学科設置予定について)

⑤人材需要に関するアンケート調査等

(1) フードデザイン学科における教育研究上の目的、養成する人材像

【栄養士コース】

食物栄養学科で培った実績を基に、食や栄養と健康の理念をふまえた幅広い知識を応用する能力と、基本的な調理技術を修得し、現場で活躍できる心豊かな栄養士を養成する。

【食生活デザインコース】

現在の幅広い食分野での様々な課題を発見し、新たな食システム・サービス・食品を想像できる人材を養成する。

(2) フードデザイン学科が養成する人材の需要の分析

栄養士コースは、既設の食物栄養学科の実績を踏まえ、高い就職率の実績を残している。

令和6年3月卒業 就職希望者 52人 就職決定 52人 100%

令和5年3月卒業	就職希望者 50人	就職決定 50人	100%
令和4年3月卒業	就職希望者 39人	就職決定 39人	100%

(資料7 令和4年3月卒業生の就職先アンケート) を令和5年7月から8月の期間で実施し、関連企業からの高い信頼と期待を寄せられており、高い就職率を維持している。また、令和6年3月卒業の就職職種に変化が見られ、食生活デザインコースの知識・技術を修得した就職を希望する学生が推測できる。

食生活デザインコースは、サステイナブルフード、フードテックの成長市場での人材需要も期待される(資料2)。そうした企業で活躍できる人材養成を行う。栄養士コースの学生も、食生活デザインコースの知識・技術を選択できる環境を整備する。

フードデザイン学科は、社会的な人材需要の見通しを踏まえた計画である。

(4) 新設組織の定員設定の理由

(4) 新設組織の定員設定の理由

フードデザイン学科の定員設定は、既設の食物栄養学科の定員充足が出来ない状況（過去5年平均80%）が続くなか、栄養士コース50人は確保し、食生活デザインコースでは、成長市場の知識・技術を修得するコースとして、学生30人を確保し入学定員80人を充足するため設定した理由である。